

吉田十二議員 国の三位一体の改革により、本町の経済状況は全ての業種が、生死の現状にある。低迷が3、4年続けば、夕張市のようになるのではと懸念をされている。合併の最大目的は経費節減をし、他の産業振興を進めることが重要と考える。



復興を待たれる蓮華会舞

行政には民間と比較し、経費節減できるものが多いと感じるので、最善の努力をされたい。特に各課及び支所には沢山の車があるが、現在何台あるのか。また、これらに要する年間経費はい



吉田十二議員

**\*経費節減を  
\*蓮華会舞の復興は**

くらか。各課が同時に全車を使用することはないので台数を減らして集中管理を行うべきだ。次に国分寺本堂消失に伴い、蓮華会舞に使用する衣装等一式が消失した。本堂及び蓮華会舞の伝承が早く再開されるよう、町の支援が必要と思うが。

が、新たに町内7圏域14箇所において「はつらつサロン事業」を展開する。概ね一圏域月2回ずつの開催である。「小学校の統廃合」は以前より話があり合併後の「行財政改革実施計画」により住民に説明し、子供達の教育環境、効果の向上を目標に進めている。

を出すよう言われた。地区座談会の最中に、統合ありきのような考えでは困る。全国では極少小学校が地域の協力で存続している。藤田教育長 学校教育には子供達の数が影響する。育っていく環境での集団の力は大きい。地域で学校の存在が大きいのは理解する。

①十九年度の観光振興 齋藤昭一議員 新空港の昨年以上の企画は。松田町長「小さな島で大きな発見」をキーワードに民謡ツアー、修学旅行等々の誘致に取り組む。又春秋の観光シーズン拡大を図る。



齋藤昭一議員

芸能などを勉強した一般人の知識を観光案内に協力を願った。町長 風待ち海道倶楽部が中心となりガイド養成講習会を開催、「もてなしの観光」を形成していく。議員 団塊の世代の観光客誘致の具体的な取り組みとは。

町長「古民家を活用した離島型観光」「離島の暮らし体験型観光」等誘客や定住を図る。②定住者対策 議員 今一番にやらな

**\*隠岐の島町観光振興対策について**

**\*職員定数の適正化及び給与削減は  
\*学校統廃合はどうする**



石田茂春議員

石田茂春議員「行財政改革実施計画」に沿って職員適正化は進んでいるか。松田町長 十九年四月計画315名に対して現在321名、目標値に6名達していない。

議員 町民の声に耳を傾けているのか。時の流れに任せてしまうのか。町長 計画通りの進捗と

177台あり、年間車両経費は約750万円。今後公用車総量削減を基本に適正配置を検討する。蓮華会舞の保存伝承については、県からも心配を頂いており、教育委員会を事務局として、支援策を検討していく。



地域と協調 那久小学校

ればならないこと、つまり「プライオリティ」は人口流出の歯止め、新たな人口増大の手立てを行う事だ。「コールセンター誘致」の他に取組みは無いか。町長 里山活性化を図るバイオマス事業に取り組み中。議員 団塊の世代の定住条件の1位は住宅提供だが具体策は。



小野昌士議員

小野昌士議員 格差のないよう旧西郷町の例による調整の進め方が旧村民の調整の進め方が旧村民

に過疎化が進み、若者は中央に集まる。統廃合を急ぐ必要があるか。時期を延ばすことは出来ないか。教育長 児童、生徒数の減少に伴う教育条件の不均衡から生じる諸問題を解決するため。また、子供達への教育と地域振興とは別の問題と考



教育委員会の移転先 旧今津小学校

**\*行財政改革について**



安部光弘議員

安部光弘議員 町村合併前を振り返ってみて①本庁にだけ職員を配置し、旧役場周辺の衰退は予想通りである。②わしらの生きがいである「デュー」をなくしてしまった。③合併をしたために小学校の統廃合の話が出てし

まったなど住民の不満の声を聞く。これらにどのように答えますか。松田町長 適正規模の地方公共団体に再編して行く必要性から行財政改革大綱を策定し、まちづくりに取り組んでいる①のような状況にある。②の釜屋デイサービスは昨年四月の介護保険法の改正で、これまでの「まるごとサポート事業」の補助金が廃止された。十八年度は事業を継続してきた

**\*一体感の持てる町をつくれ**



元気老人釜屋デイサービス

の不満、不安になっている。旧都万村独自で実施していた元気老人デイが三月でなくなると聞く。認知症、閉じこもり予防何より地域になじんだ事業である。多少個人負担を多くしても残すべきで、一時的に均衡は保たれなくても他の地域に波及させれば地域の元氣、町の元氣につながると考

松田町長 予防事業は重要な施策と考える。釜屋地区デイサービスはつらつサロン事業を開催し、介護予防に取り組むたい。議員 支所の地域振興に分配されている金はわず

取り組ませていますか。町長 意欲的な姿が見えるようになった。部署も横の連携を取って取り組む。



菜の花でクリーンエネルギーを

ている。都会人が定住できるよう、受入れ対策に力点を置け。そのために役場職員は担当部署を飛び越し、実行集団として